

研究機関：広島大学

<p>研究課題名 検診受診者における肝炎ウイルス感染(HCV、HBV)と血液検査データ及び腹部超音波検査所見との関連性に関する探索的横断研究</p>
<p>研究責任者名 広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学 教授 田中純子</p>
<p>研究期間 平成 27 年 4 月 30 日～ 平成 33 年 3 月 31 日</p>
<p>対象者 平成 20 年度から平成 30 年度に公益財団法人広島県地域保健医療推進機構において検診を受診した方のうち、血液検査及び腹部超音波検査を受けた成人の方。</p>
<p>意義・目的 HCV あるいは HBV キャリアのうち、何らかの症状があり病院を受診した方の臨床経過については現在までに種々の報告があります。一方、HCV あるいは HBV キャリアであるものの無症候性で医療機関を受診していない方の臨床経過に関する報告は少ないのが現状です。そこで今回、検診受診者を対象に HCV および HBV キャリアの分布を明らかにするとともに、無症候性キャリアについて各種血液検査及び腹部超音波検査などの臨床検査結果との関連を探索的に検討するため本研究を計画しました。本研究により、無症候性キャリアの臨床検査結果を把握することで、治療介入の時期や健診推進の根拠となる重要な疫学的資料となることが期待されています。</p>
<p>方法 本研究は、既存資料（検診データ）調査と検診時の残余血液検体を用います。広島県地域保健医療推進機構で採血した血液検体は、法的保管期限(2 週間)を過ぎた後に、残余検体として広島大学に搬送、保管されます。広島大学にて HBV 及び HCV 関連マーカーを測定し、集計、解析を行います。（健診データおよび残余検体は匿名化されており、広島大学では個人情報扱いません。）</p>
<p>共同研究機関 広島県地域保健医療推進機構</p>
<p>個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に健診データおよび残余血液を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
<p>問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 ☎ 082-257-5162 FAX 082-257-5164 広島大学大学院 医歯薬保健学研究 疫学・疾病制御学 研究責任者 教授 田中純子</p>